

シニアプレミアム 第17号

Smart senior council Kyushu

2024年1月1日

一般社団法人九州賢人会議所

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-9-28 福岡商工会議所ビル1F

TEL : 092-451-8610 FAX : 092-451-8612

E-mail: kyushu@kenjinkaigisho.com URL <http://www.kenjinkaigisho.com>

皆様、新年あけましておめでとうございます。

謹んで初春のお慶びを申し上げます。

さて、当所は今年、設立10周年を迎えます。10年間の活動と現在の高齢化社会、今後の情勢変化を念頭に当会議所の役割を以下4点を挙げさせていただきます。

①高齢者の生きがいがづくりに資すること。

②高齢者が長年醸成してきた知識や経験をベースに社会貢献に資すること。

③年齢をほぼ同じくし人生やスポーツなどを共に楽しむ仲間と出会い、生きがいや共感を分かち合う機会を創出すること。

④高齢者であるが故の心情的、肉体的な課題や問題を相互に開示・共有する仲間として、相互に認識を持ち貴重な情報交換ができること。

10年間活動に取り組んでこれらを肌で感じる機会をたくさん持てましたし、こうした取り組みは今後も会員相互の生きがい向上に寄与できるものと思います。引き続き精力的に活動に取り組み、日本社会全体の活性化に向け、皆様と一緒にその一翼を担っていきたくと思います。今年も大いに楽しみ、会員拡大に向けて進んでいきましょう。 本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。 会長 松尾 新吾



賢人会議所10周年の新年を寿ぎお祝い申し上げます。

賢人会議所は、長寿社会において、キャリアを積んだシニアが、いかなる人生を送ろうとするのか。

そのシニアの目線の先に何を描こうとするのか。

我々は「社会から支えられる立場から支える側に」を基本コンセプトと確認して、この事業のスタートとした。

夢は「デッカク」で聳え立つ高さであった。

その中でも今後も取り組みたい柱となる社会的事業がある。

1：5月4日「緑の日」は「賢人の日」の制定促進

(昭和天皇誕生日に由来する)

2：高齢者定義の見直し運動。80初期、90中期、100以降を 後期高齢者。

3：創業一人一業のススメ。

キャリアビジネスネットワーク、シニアボランティアネットワークの設立等であった。

10周年を契機に推進する事業として提案したい事業は、

1：社会課題を提言し望ましい社会の実現を目指す「賢人会議の開催」

2：九州各県への賢人会議所の設立促進。

3：身体障害者・認知症・高齢者による生きがいがづくりのコラボ事業等である。尚、10周年の記念事業として、日本賢人会議所との連携・交流事業の実現に努めたいと思います。

理事長 小早川 明德



2023年後半を振り返って

第9回定時総会

6月19日(月)にTKPガーデンシティ
PUREMIUM天神スカイホールにて開催

会長挨拶を芦塚副会長が代理で
「2014年7月31日に当会議所を立ち上げて、いよいよ来年度は10年目を迎えます。一昨年・昨年度と度々コロナによる行事の休止が見られましたが、その後は多くの方々にご参加いただき、大いに盛り上がりを見せています。引き続きこの場を大いに盛り上げていきましょう」と語られた。



写真は総会風景 議長小早川理事長
事業報告・決算報告がなされ、令和5年度の事業
計画及び予算案が承認された。監事による監査報
告が惣福協監事より適切かつ正確に処理されてい
ると報告された。



写真は総会風景（上）
懇親会祝いめでた（左）

5月17日会員例会（異形の大国インド） 講師：麻生渡氏



インドの人口は国連によれば14億を超えて
世界一となり、中位年齢は27.8歳で極めて
若いこと。経済はIT産業を中心としたサー
ビス産業が主導し農業人口は60%以上で労
働力の供給は無限であり、これからのイン
ドの勢いある発展がうかがえる。

P2



会員例会は、毎月全体行事がない月に開催
しています。学びや出会いがあります。

7月31日賢人式・長寿を祝う会



R5年度入会者 (R4/6～R5/5)
稲川利光・大野憲俊・岡本成史
奥田結貴・加藤雅人・河口満
木下敏之・楠原公規・熊澤敦子
善はるみ・坪井望・中村誠一・
西川恵三・新田敏之・浜田俊勝
原紳次郎・福地宏太・堀純生・馬見
塚讓・山田佳代・渡辺弘一 (敬称略)

7月31日商工会議所ビルに於いて賢人式と長寿を祝う会を開催
今年度 (R4/6～R5/5) は21名の方が入会され10名の方が参加。
賢人憲章の宣誓・賢人掟八則の唱和をし松尾会長が賢人バッジ
を贈呈



写真左から渡辺弘一氏・福地宏太氏
熊澤敦子氏・加藤雅人氏・西川恵三氏
楠原公規氏・大野憲俊氏・岡本成史氏
新田敏之氏・原紳次郎



掟八則唱和 納富氏

～進化し続ける価値ある人生を～
長寿社会はあなたが社会の担い手です。

人生の節目・長寿のお祝い

今年は西川鯉近様 (99歳) 白寿のお祝いが出来ましたことは大きな喜びです。人生100年時代と
言われて久しいですが、健康であること、集う場所や仲間がいること大切にしたいですね。



写真は左から西川鯉近様 (99歳)
中 脩治郎様 (88歳)
小早川 明德様 (77歳)



右下左から
下村章様 大霜洋様 麻生敏雄様
加藤武弘様 由良範隆様 (80歳)



Congratulations!

9月20日お月見の会開催

櫛田神社にて九州賢人会議所の「安全・健康」の祈願をする。松尾会長に玉串を拝礼していただき、会員の安全と健康のご祈禱を終えた後、灯明殿にて楽しい時間を共に過ごしました。



11月21日会員交流会開催



第一部は会員による卓話で、九州大学名誉教授丸山孝一先生の「86年間の人生を歩いて」写真(中)というタイトルでのお話で、人間は弱くて脆くて愚かである。だからこそ人間は愛しいと…。写真(右)は九州スタッフ株式会社 会長大霜洋氏(80歳)で60歳で九州松下ライフエレクトロニクスを退職し起業されたことと、松下幸之助翁の教えなどのお話を伺いました。

写真右は懇親会風景



高齢者活躍社会を目指して



10月8日九州大学医学部100年講堂にて元気100倶楽部主催、賢人会議所共催の医療講演、シンポジウム、健康チェックなど多彩なイベントを開催。
元気100倶楽部会長の原寛氏は、どうしたら健康長寿になれるか、今日一日しっかり学んでくださいと挨拶された。高齢者一人一人が健康に気を付け元気に活躍できる社会を目指したいという原寛会長の想いが結集された一日のプログラムでした。



写真上段左は90歳元気サミットと題し、90歳を過ぎてもお現役でご活躍されている4名の方をお招き、元気の秘訣を聞きました。
100歳まで健康いるには、食事、運動、睡眠、社会貢献が大事です。高齢者が元気だと日本が明るくなります。みんなで頑張りましょう。
右は久山町研究のシンポジウム、中段左は70歳からのチアダンス。右は医療講演。下段左は、出展ブースの様子で南雲フィーバーが起こっています。



生き甲斐創り事業部会

部会長 芦塚 日出美 (株式会社博多座 元代表取締役社長)

高齢者が生き生きと社会参加できる社会の実現を目的とした活動に取り組むと共に、自分自身の能力や感性を磨くために美術や音楽、芸能文化等に直接触れて「心の栄養」を吸収し、シニアに文化的な楽しみが提供できる「場」創りに取り組んでいきたいと思っております。

健康創り事業部会

部会長 原 寛 (社会医療法人原土井病院 理事長)

生活習慣の改善による健康創りを提唱する「元気100倶楽部」と連携で健康体を維持するための「健康長寿フェア」と「定例会」等で学びと実践の「場」を提供した「健康長寿活動」に取り組んでいます。



学びの場創り事業部会

部会長 大内田 勇成 (株式会社ウエストホールディングス 元最高顧問)

学びの場を広く提供するため、当事業部会の趣旨に賛同・理解を寄せ公共教育施設や社会福祉施設等と連携するとともに、会員相互の協力を得ながらモデル事業を開発していく柔軟な取り組みをモットーとしています。また会員拡大の推進力となるよう、会員相互の情報交換や親睦を深める場として「福岡の歴史を楽しく学ぶ」活動を行っています。

社会環境創り事業部会

部会長 大野 太三 (丸三工業株式会社 代表取締役会長)

高齢者が社会で活躍し得る環境創りのために、高齢者雇用を取り巻く環境などの実態調査や企業の動向調査などを行い、。独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構と連携した活動を行っています。



次世代創り事業部会

部会長 右田 喜章 (株式会社ホークスタウン 元会長)

高齢者が持つ、知識、経験、技術を次世代に伝承する諸活動を目的とし、①青少年・学生事業の支援、②歴史、伝統及び精神文化の継承、教育のための次世代人材育成事業の推進、③社会・行政に対する“次世代創り”の提言の実施を三つの柱として活動しています。

国際社会との連携事業部会

部会長 大霜 洋 (九州スタッフ株式会社 代表取締役会長)

進化する国際社会においては、高齢者の海外交流も現代の要件となっています。特に東南アジア諸国との交流・親睦を深めるための研修・視察旅行を企画、実施し、リアルタイムでの生きた情報収集を楽しんでいます。



農業再生支援事業部会

部会長 真田 彬 (有限会社ピーアンドピー 代表取締役会長)

農業が直面する課題を解決するための支援を行うことを目標の柱とし、産地を知るための勉強会や意見交換会、さらには、食を通じた交流、産地巡り、美味しい旅も計画しています。

例会委員会

委員長 井手 和英 (筑邦銀行 元頭取)

例会委員会では、各部会を横でつなぐために月1回時宜に応じた勉強会を開催し会員同士の全体の和を創り一体感創りに貢献しています。各部会を超えた会員同士のつながりの場を提供しています。

